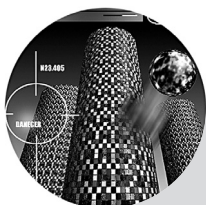
EPSON

dreamio™

Home Projector

EMP-TW2000

取扱説明書

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方

本機の説明書は、次の２冊で構成されています。以下の順番でお読みください。

❶ 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート･サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に、必ずご覧ください。

❷ 取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

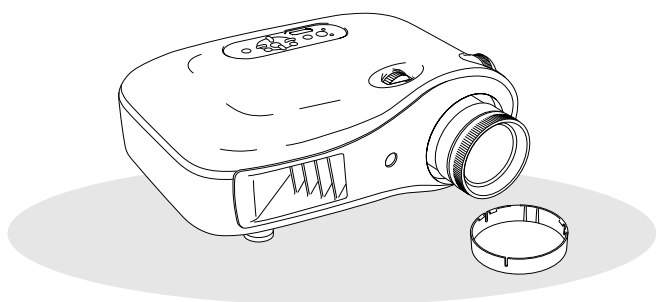
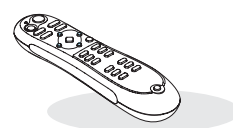
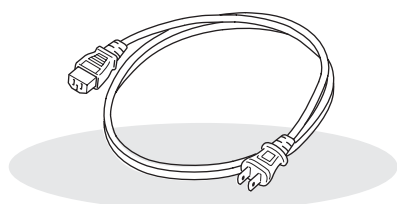
注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▸▸	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。 「付録 用語解説」をご覧ください。☞p.51
On Menu など	リモコン、または操作パネルのボタンを示しています。
「(メニュー名) 」	環境設定メニューの項目を示しています。 例：「画質」→「カラーモード」
[(名 称)]	本機の接続端子名を示しています。 例：[Video]

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

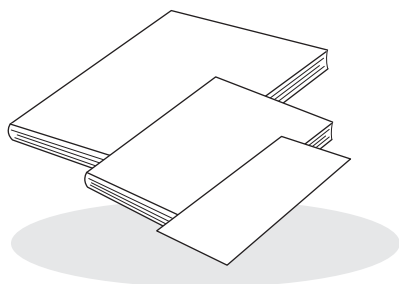
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

❏ プロジェクター本体（レンズカバー付属）

❏ リモコン

❏ 電源ケーブル（日本国内用3.0m）
本機と電源コンセントを接続します。

❏ 単3アルカリ乾電池（2本）
リモコンにセットして使います。

ドキュメント類

❏ 安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内

❏ 取扱説明書

❏ 保証書

目次

使い始めるまでの準備

基本操作

画質の調整

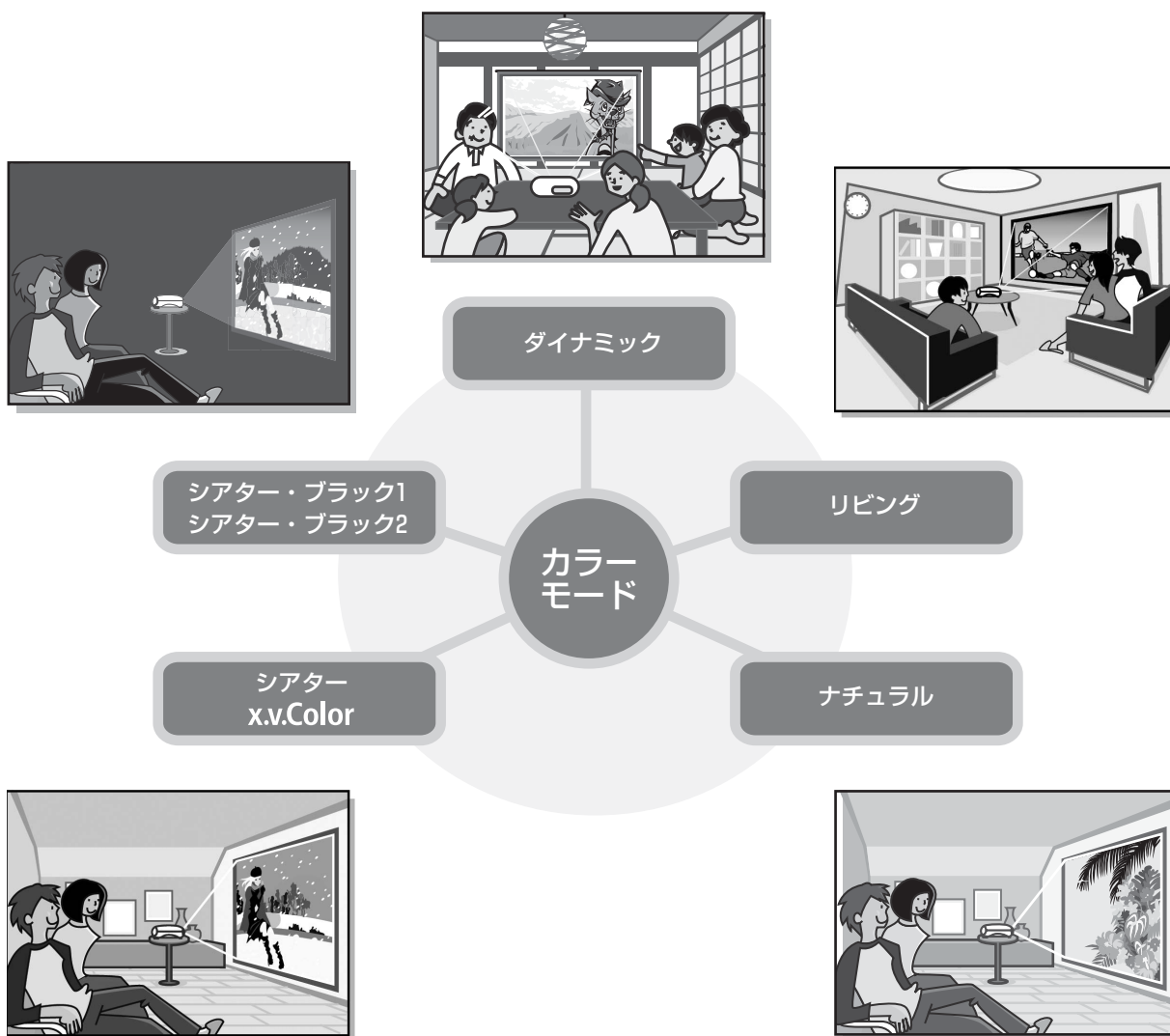
環境設定メニュー

困ったときに

付録

本機の特長

ご覧になるお部屋や映像に合わせた映り具合の選択（カラーモード）

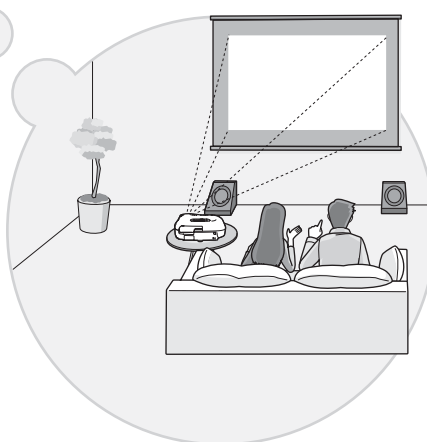
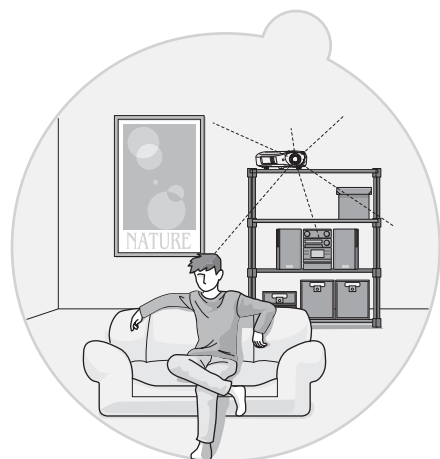
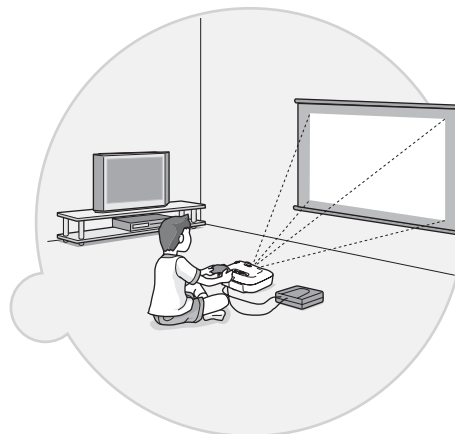
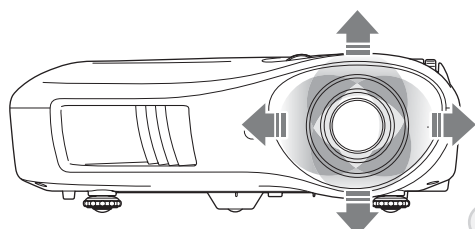
あらかじめ登録されている次の7つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。
「ナチュラル」「シアター」「x.v.Color」「シアター・ブラック1」「シアター・ブラック2」を選択すると、自動的にエプソンシネマフィルタが装着され、映像全体がしまり、人物の肌の色もより自然な色合いになります。
p.18

より自然な色を再現できる「x.v.Color」モード

動画用広色域色空間の国際規格（xvYCC）に対応したモードです。
この規格に対応した機器からの広色域の動画映像を、より忠実に色を再現することで、自然で鮮明な色をお楽しみいただけます。p.18

こだわりの色調整

カラーモードに加え、お好みに合わせて映像の絶対色温度や肌の色を簡単に調整できます。さらに、ガンマ調整、RGB各色のオフセット・ゲインの調整、RGBCMY各色の色相・彩度・明度の調整を組み合わせて、映像に合わせた思い通りの色を実現できます。p.20

広角レンズシフト搭載

投写映像の位置を、映像をゆがめることなく上下・左右に調整できるレンズシフト機能を搭載。天吊りにしたり、スクリーンのサイドから投写したり設置場所を選びません。p.16

2.1倍短焦点ズームレンズ搭載

2.1倍短焦点ズームレンズ搭載しているので、6畳間で100型の大画面（16:9のスクリーンの場合）へ投写することもできます。p.10

高機能画質調整

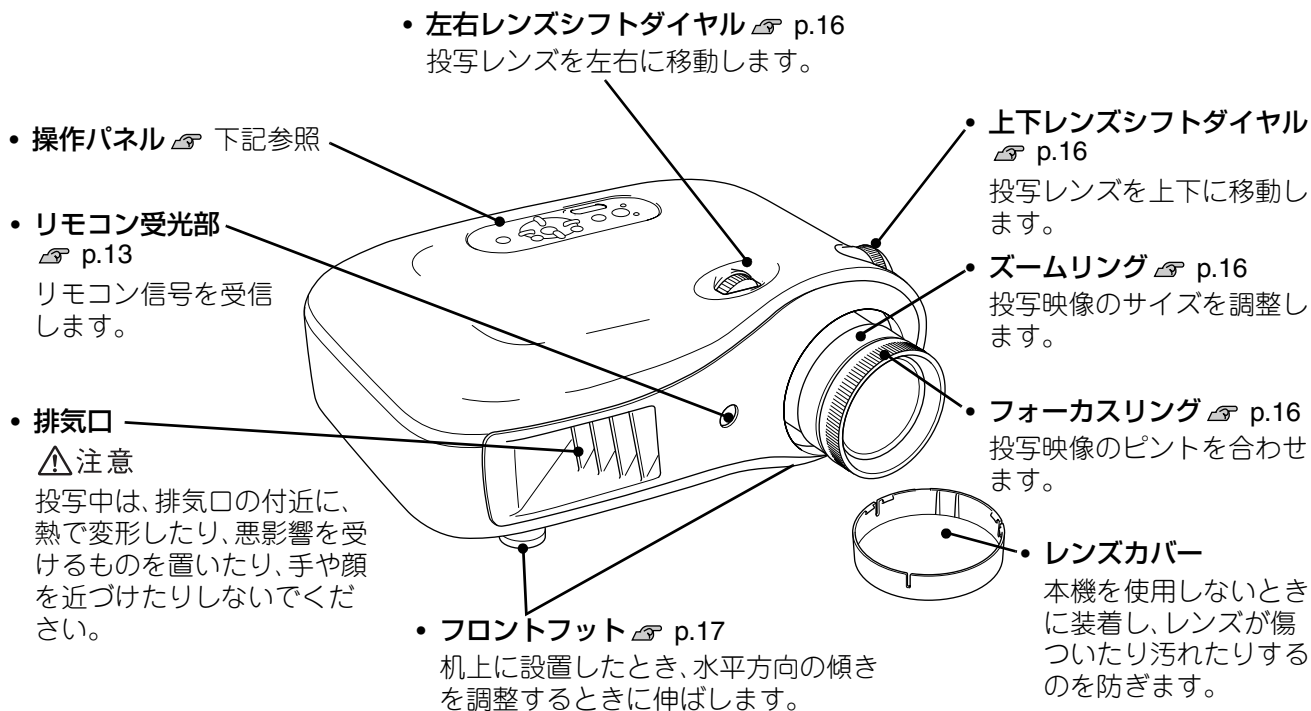
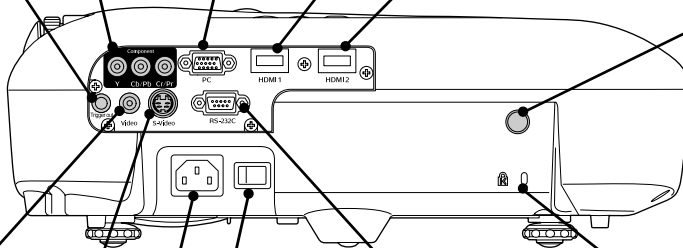
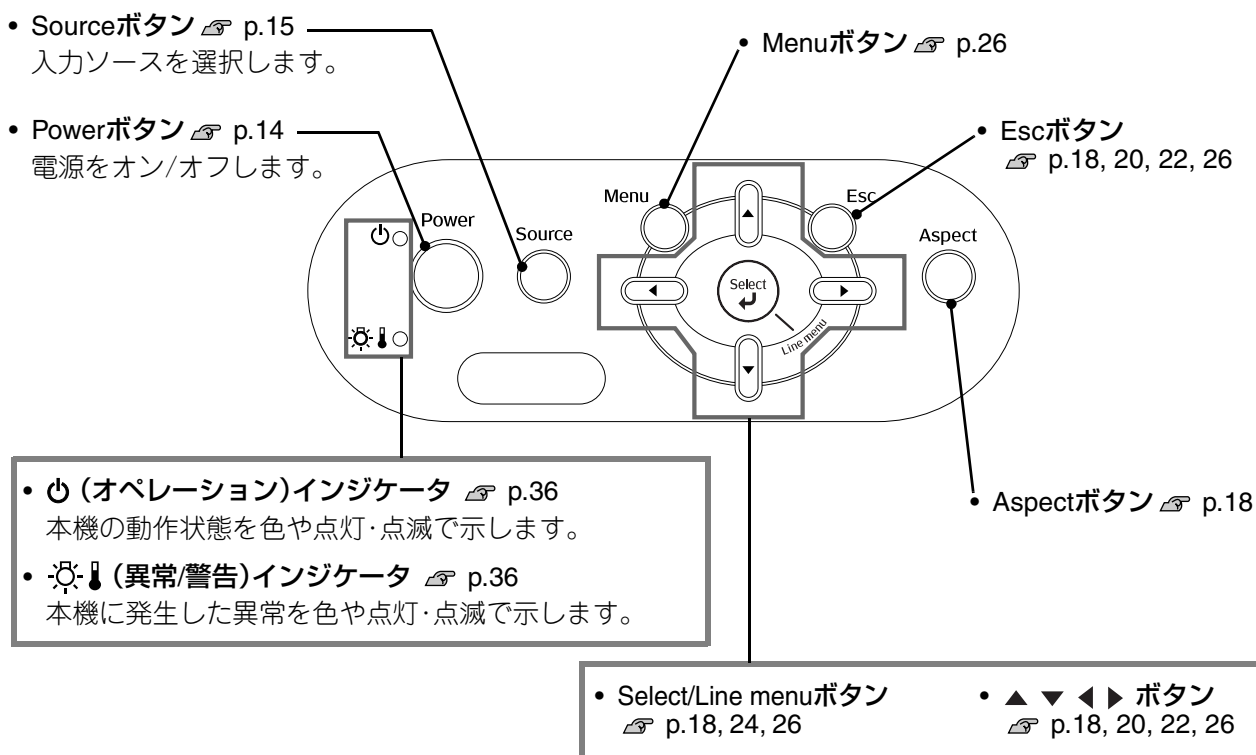
「オートアイリス」や「シャープネス（アドバンスト）」などの高機能画質調整により、さらに鮮明な画質をお楽しみいただけます。オートアイリス機能をオンにすると、投写中の映像に合わせて光量を自動的に調整し、奥行きと深みのある映像を作り出します。シャープネス機能は、映像全体の調整だけでなく、髪の毛や衣服の模様など、特定の領域をくっきりと際立たせることもできます。p.23

映像に合わせて設定できる豊富な機能

その他にも、以下のような多彩な機能があります。

- 明るすぎが原因の白飛びを防ぐEPSON Super White p.32
- 動きの大きな映像や静止画などに合わせて選べるプログレッシブ変換 p.32
- ワイド映像をご覧いただけるアスペクト 機能 p.18
- 調整した結果を登録しておき、リモコンのボタンで簡単に呼び出すことができるメモリ機能 p.24
- 調整後、誤って操作しないようにする操作パネルロックや、お子様が誤って電源を入れてレンズをのぞかないようにするチャイルドロック設定 p.33

各部の名称と働き

前面 / 上面

本体操作パネル

説明のないボタンは、リモコンに同じボタンがあります。そちらをご覧ください。

リモコン

- **インジケータ**
  リモコン信号を出力しているときに発光します。
- **リモコン発光部** p.13
  リモコン信号を出力します。
- **On/Offボタン** p.14
  プロジェクターの電源をオン/オフします。
- **Memoryボタン** p.24
  登録したメモリを呼び出します。
- **Color Modeボタン** p.18
  カラーモードを選択します。
- **Aspectボタン** p.18
  アスペクトを選択します。
- **Menuボタン** p.26
  環境設定メニューのフルメニューを表示/終了します。
- **Escボタン**
  p.18, 20, 24, 26
  メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。
- **▲ ▼ ◀ ▶ ボタン**
  p.18, 20, 22, 26
  メニューの項目や調整値を選択するときに押します。
- **Select/Line menuボタン**
  p.18, 24, 26
  ラインメニューを表示します。
  メニュー表示中は、メニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。

Source ボタン p.15

各入力端子からの映像に切り替えます。

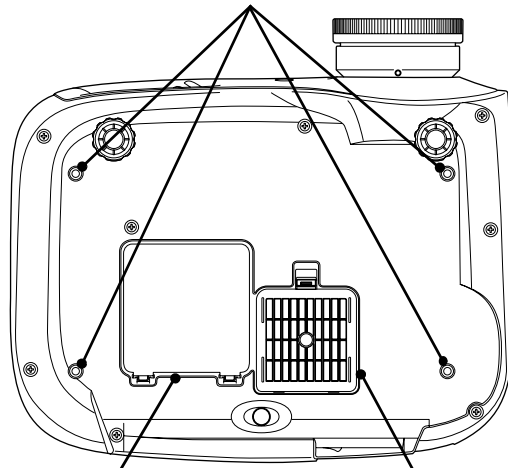
- **HDMI1ボタン**
- **HDMI2ボタン**
- **Componentボタン**
- **PCボタン**
- **S-Videoボタン**
- **Videoボタン**

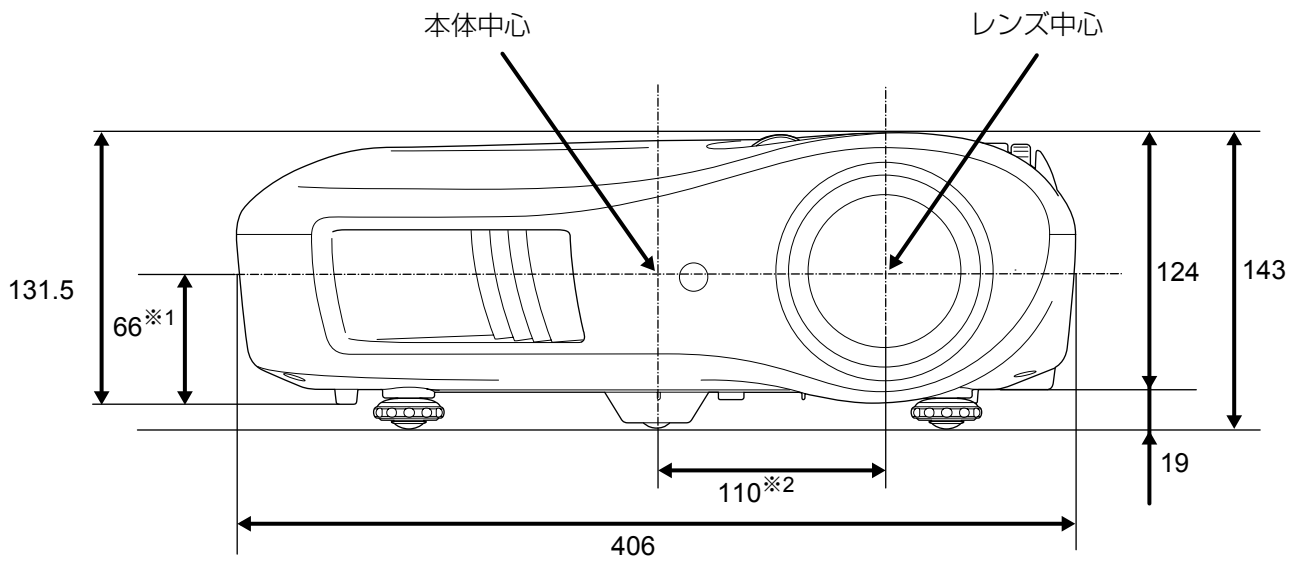
- **Gammaボタン** p.20
  ガンマ値を調整します。
- **Contrastボタン** p.30
  コントラストを調整します。
- **Color Temp.ボタン** p.20
  絶対色温度を調整します。
- **S.Tone (Skin Tone) ボタン**
  p.20
  肌の色を調整します。
- **Patternボタン** p.17
  押すたびにテストパターンを表示/終了します。
- **Blankボタン**
  押すたびに、映像を一時的に消す/解除します。
- **(照光)ボタン**
  押すとリモコン上のすべてのボタンが光ります。約10秒間経過すると自動的に消灯します。

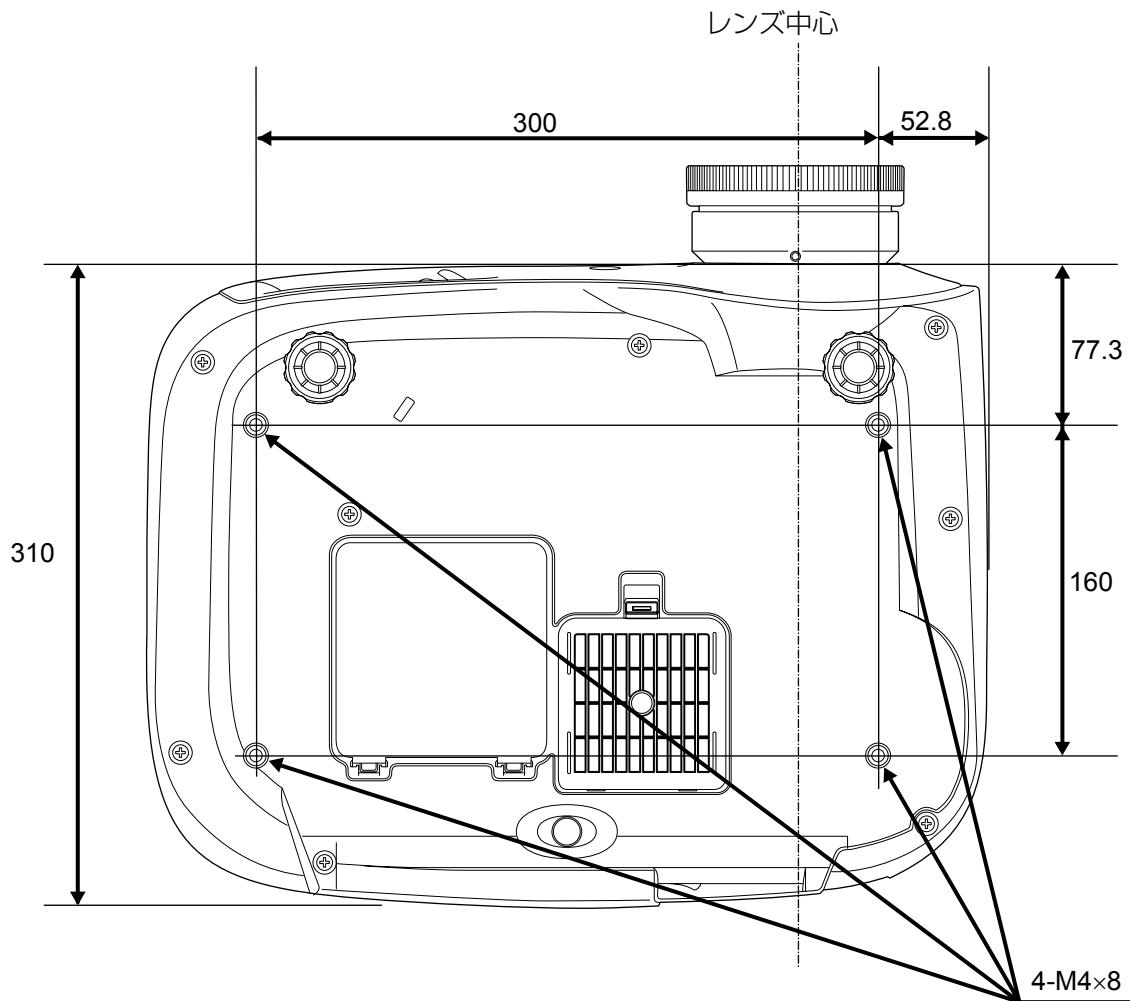
背面

- [Component]入力端子 ☞ p.12
  ビデオ機器のコンポーネント(YCbCr や YPbPr)出力端子と接続します。
- [PC]入力端子 ☞ p.12
  コンピュータのRGB出力端子と接続します。
- [HDMI1]入力端子 ☞ p.12
  HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータと接続します。
- [HDMI2]入力端子 ☞ p.12
  HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータと接続します。
- [Trigger out]端子
  本機の電源が入っている間、この端子から信号(DC12V)が出力されます。本機の電源を切ったり、異常状態になると端子からの出力が0Vになり、本機の電源のオン/オフの状態を外部機器に伝えます。
- リモコン受光部 ☞ p.13
  リモコン信号を受信します。
- 盗難防止用ロック ( ) ☞ p.52
- [Video]入力端子 ☞ p.12
  ビデオ機器の一般的な映像出力端子と接続します。
- 主電源スイッチ ☞ p.14
- [RS-232C]端子
  RS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。プロジェクター制御用の端子で通常は使用しません。
- [S-Video]入力端子 ☞ p.12
  ビデオ機器のS映像出力端子と接続します。
- [電源]端子 ☞ p.14
  電源ケーブルを接続します。

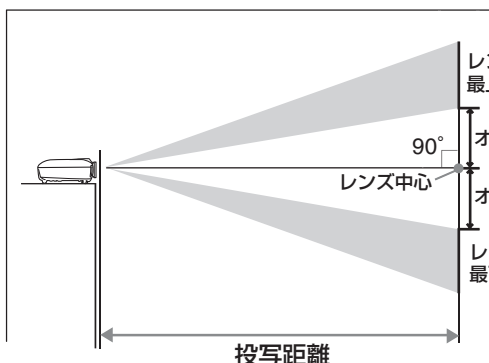
底面

- 天吊固定部(4箇所) ☞ p.46
  天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。

- ランプカバー ☞ p.44
  ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
- エアーフィルタ(吸気口) ☞ p.42, 44
  吸気時に本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。
  定期的に掃除してください。

外形寸法図

※1 レンズ中心から天吊固定部までの寸法
（レンズシフト量：上下方向最大8.8 mm）
※2 レンズ中心から本体中心までの寸法
（レンズシフト量：左右方向最大7.7 mm）

レンズ中心
300
52.8
77.3
310
160
4-M4×8

単位：mm

投写サイズを調整する

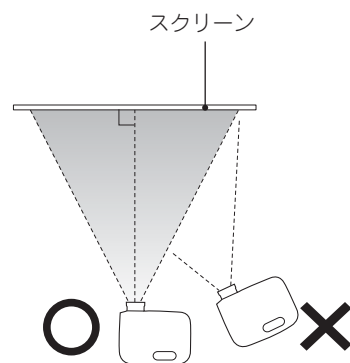
本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。

レンズ中心からスクリーン下端までの高さは、
レンズシフトの状態により異なります

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。
値は目安です。

単位:cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離 最短 (Wide)	～	投写距離 最長 (Tele)	オフセット値Ⓐ	～	オフセット値Ⓑ
30型	66×37	87	～	188	17	～	－17
40型	89×50	117	～	252	23	～	－23
60型	130×75	177	～	380	35	～	－35
80型	180×100	238	～	508	46	～	－46
100型	220×120	298	～	636	58	～	－58
120型	270×150	359	～	764	69	～	－69
150型	330×190	450	～	956	86	～	－86

単位:cm

4:3 スクリーンサイズ		投写距離 最短 (Wide)	～	投写距離 最長 (Tele)	オフセット値Ⓐ	～	オフセット値Ⓑ
30型	61×46	106	～	230	21	～	－21
40型	81×61	143	～	309	28	～	－28
60型	120×90	217	～	465	42	～	－42
80型	160×120	291	～	622	56	～	－56
100型	200×150	365	～	778	71	～	－71
120型	240×180	439	～	935	85	～	－85
150型	300×230	550	～	1170	106	～	－106

スクリーンに対して本機を斜めに
設置すると映像が台形にゆがみます。

オフセット値は、本機のレンズ中心から投写映像の最上/最下端までの距離です。

レンズシフト

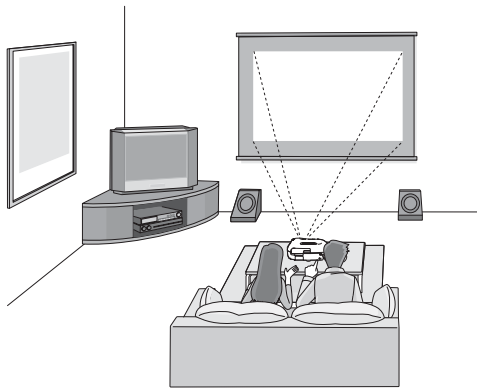
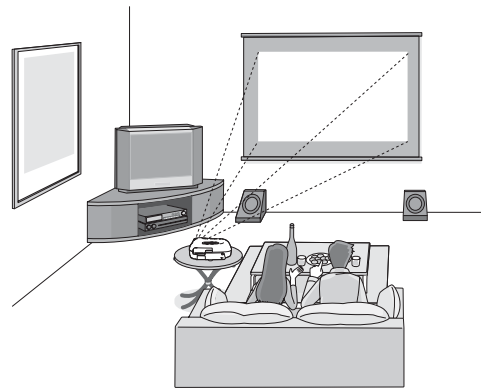
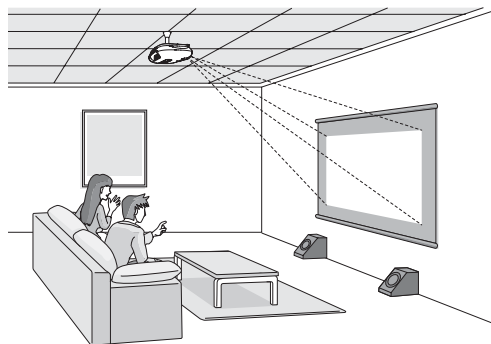
レンズシフトダイヤルを使って映像を投写する位置を調整できるため、次のようなとき設置の自由度が広がります。p.16

- 天吊りで使用するとき
- 高い位置にスクリーンがあるとき
- スクリーンの正面に座って映像を見るために本機を横に置くとき
- 棚の上などに本機を置くとき

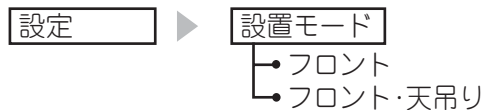
レンズシフトは光学式のためデータ処理による画質の劣化はほとんどありません。
ただし、レンズシフトで調整しない状態が一番きれいな映像を投写できます。

いろいろな投写方法

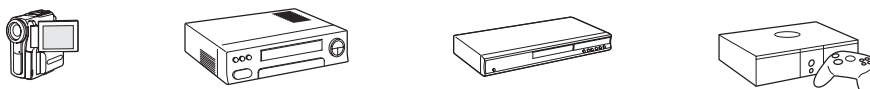
⚠警告
- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
  天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

注意
- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。
- エアーフィルタは約3ヶ月に一度は掃除してください。
  ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。

■正面から投写する

■天吊りして投写する

■スクリーンのサイドから投写する

※スクリーンのサイドから投写する場合にも、スクリーンと本機が平行になるように設置してください。

※天吊りにして投写する場合は、環境設定メニューの設定を変更します。p.33

映像機器と接続しよう

- 接続する前に接続機器の電源を切ってください。
  電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。
  向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

ビデオ機器（VHSビデオ、DVDプレイヤ、BSチューナ、CSチューナ、ゲーム機等）

コンピュータ

※端子名称は接続機器によって異なることがあります。

S映像出力

S-ビデオケーブル（市販品）

映像出力

RCAビデオケーブル（市販品）

コンポーネント出力
Y Cb/Pb Cr/Pr

コンポーネントビデオケーブル（市販品）

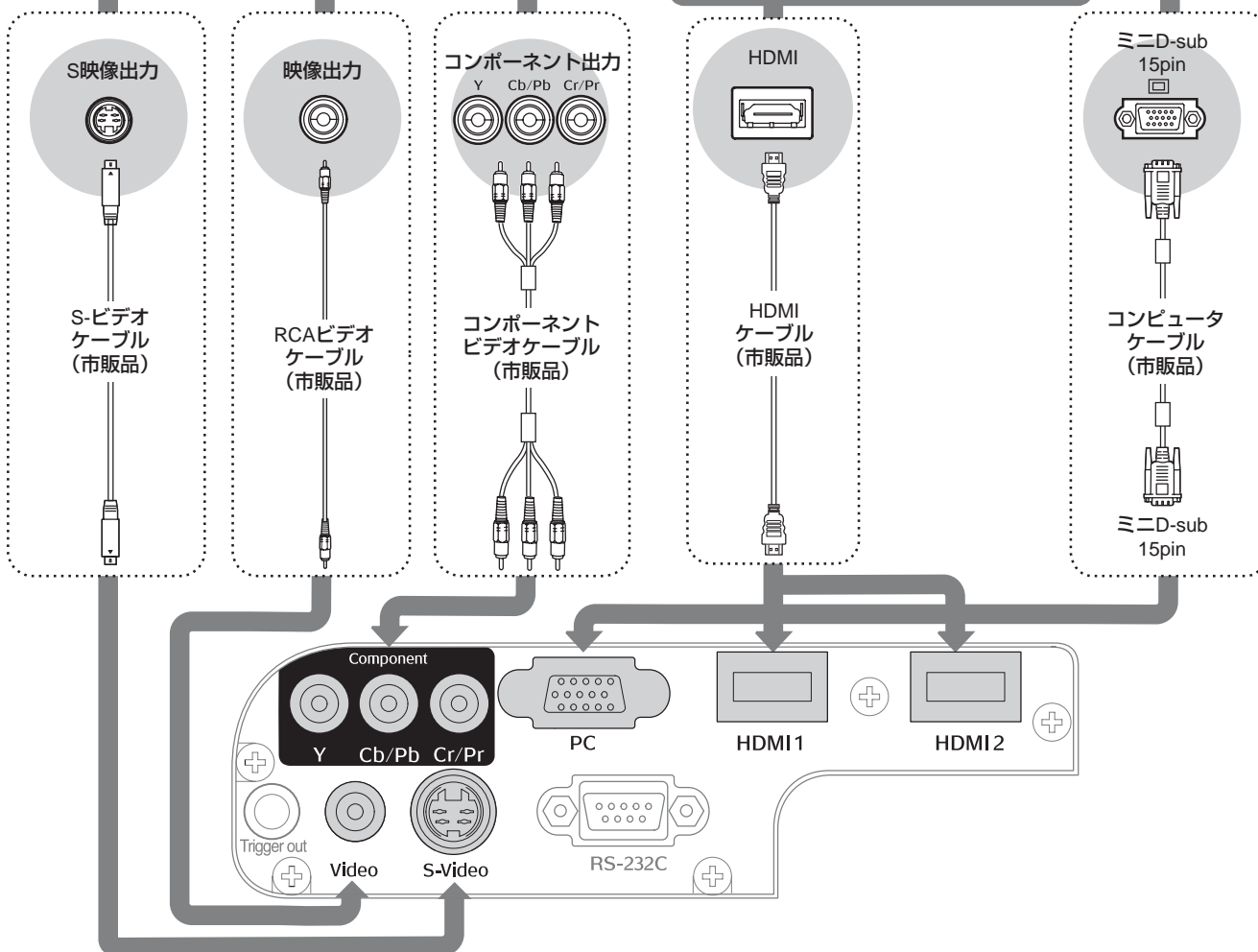
HDMI

HDMIケーブル（市販品）

ミニD-sub 15pin

コンピュータケーブル（市販品）

ミニD-sub 15pin

Component
Y Cb/Pb Cr/Pr
PC
HDMI 1
HDMI 2
Trigger out
Video
S-Video
RS-232C

- 接続する機器によっては、その機器特有のコネクタ形状をしている場合があります。その場合は、その機器の同梱かオプションのケーブルで接続します。
- ビデオ機器から出力されるビデオ信号の方式により、本機との接続に使用するケーブルが異なります。ビデオ機器によっては、何種類かのビデオ信号を出力できるものがあります。ビデオ信号方式を画質が良い順に並べると、一般的には次のようになります。
  デジタルコンポーネントビデオ [HDMI] ＞ アナログコンポーネントビデオ[Component] ＞ S-ビデオ[S-Video] ＞ コンポジットビデオ[Video]

  どのビデオ信号方式で出力できるかはお使いのビデオ機器に添付の『取扱説明書』で確認してください。コンポジットビデオ方式は単に「映像出力」と呼ばれる場合もあります。

リモコンを準備しよう

リモコンに電池をセットする

リモコンには電池がセットされていません。使い始めるときは、同梱の電池をセットします。

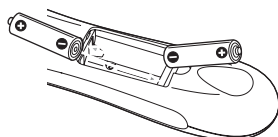
1 **電池カバーを外します。**

つまみを押さえながら上へ持ち上げます。

2 **電池をセットします。**

⚠注意
電池ホルダ内の表示を確認し、(＋)(－)を正しくセットしてください。

3 **電池カバーを取り付けます。**

①ツメの部分を差し込みます。
②カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池には、新品の単3形乾電池2本を用意してください。

リモコンの操作範囲

■操作可能範囲（左右）

■操作可能範囲（上下）

電源を入れて投写する

1 レンズカバーを外します。

2 電源ケーブルを接続します。

（同梱品）

3 主電源スイッチを入れます。

ON

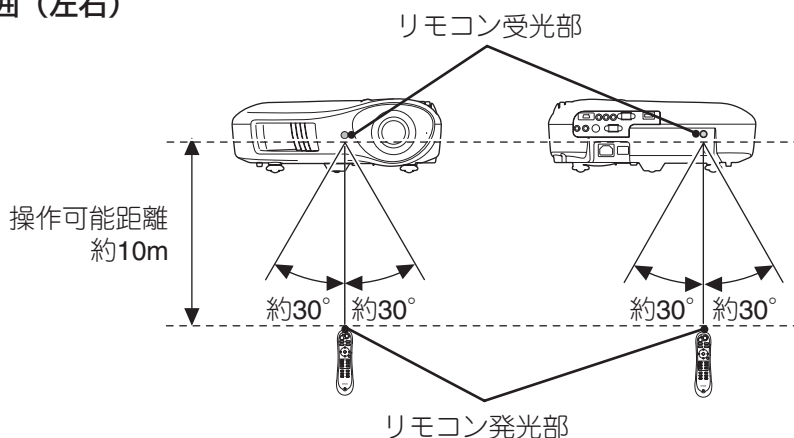
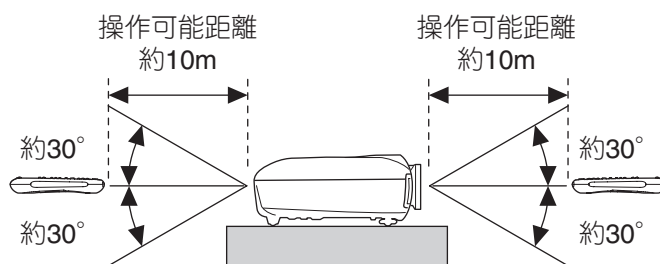
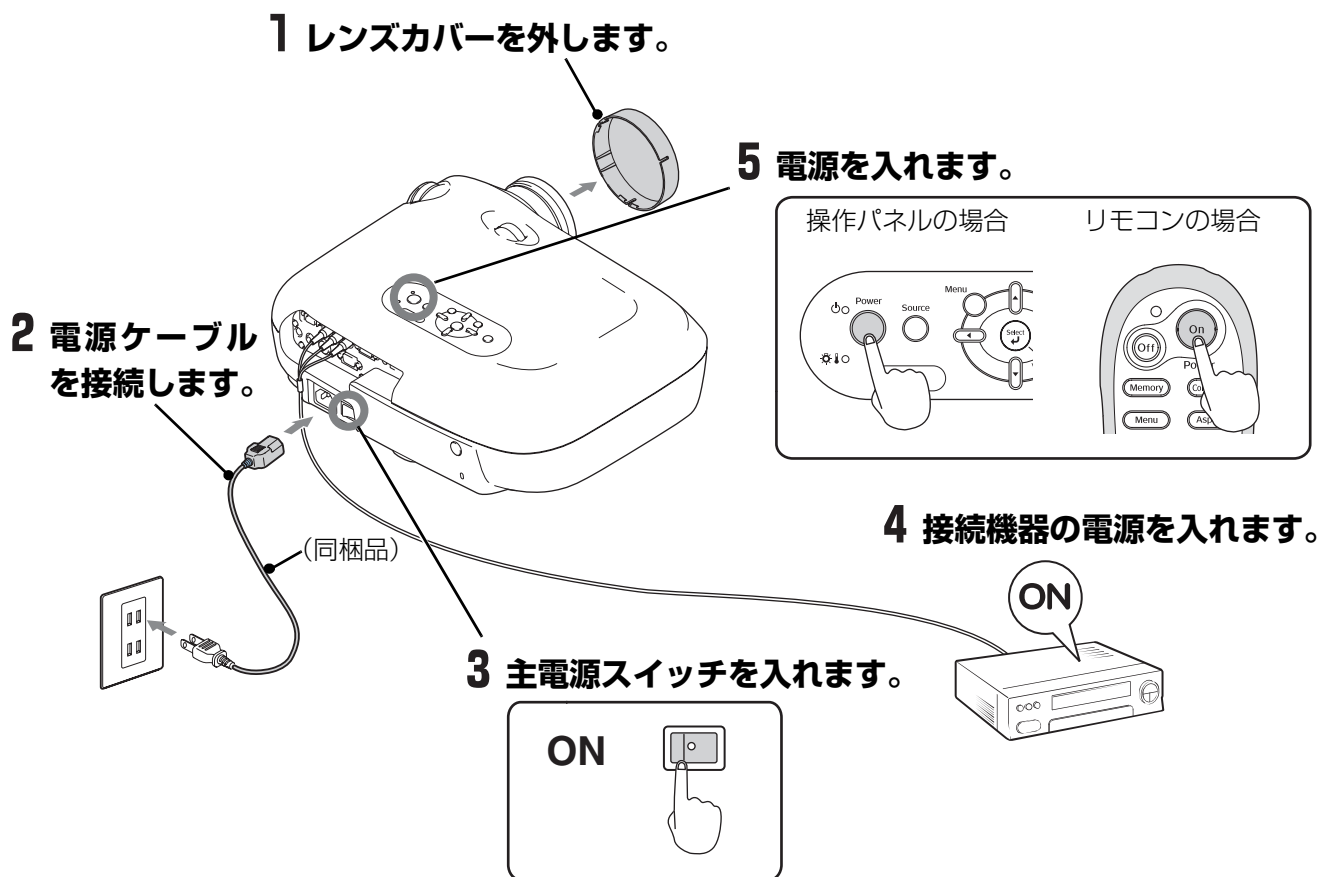
4 接続機器の電源を入れます。

ON

5 電源を入れます。

操作パネルの場合　　リモコンの場合

Power　Source　Menu　Select

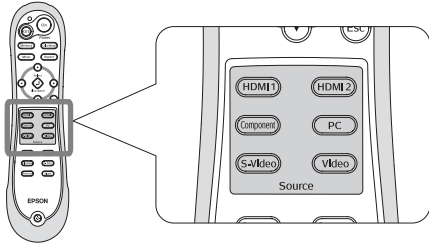
On　Off　Power　Memory　Menu

本機を正しく設置･接続しているのに投写に問題があるときは p.15, 36

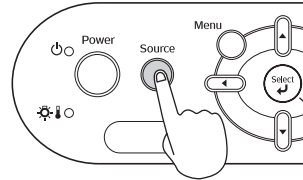
- 「ダイレクトパワーオン」を「オン」にすると、リモコンや操作パネルの電源を入れなくても、主電源スイッチをONにするだけで投写を開始します。
- 本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐ「チャイルドロック」機能や、誤操作などを防ぐ「操作ボタンロック」機能があります。p.33
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず「高地モード」を「オン」にしてください。p.33
- 本機には、接続しているコンピュータ映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能が装備されています。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときは、キーや設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。
  切り替えは Fn を押したまま F□（□／□ などの記載がキー上にある）を押して行います。
  切り替え後、しばらくすると投写を開始します。
  コンピュータの『取扱説明書』

出力切り替えの一例	
エプソン	Fn + F8
NEC	Fn + F3
Panasonic	
SOTEC	
HP	Fn + F4
東芝	Fn + F5
IBM	Fn + F7
LENOVO	
SONY	
DELL	Fn + F8
富士通	Fn + F10
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行います。OSによっては F7 で切り替えることができます。

目的の映像が映らない場合

接続機器を複数接続している場合や、映像が映らないときは、リモコンまたは本体操作パネルのボタンを押して入力ソースを切り替えます。ビデオ機器の場合は、[再生]や[プレイ]ボタンを押してから入力ソースを切り替えてください。

リモコンの場合

投写したい機器を接続している端子名が表記されたボタンを押します。

操作パネルの場合

[Source]を押すと、メニューが表示されます。
[Source]を押すたびにポインタが移動します。目的の入力ソースにポインタを合わせて入力ソースを選択します。
[Select]を押して決定します。ポインタを合わせた状態で約3秒間なにも操作をしなかったときも、その入力ソースに切り替わります。

ポイント

[Component]入力端子からの映像を投写していて、映像の色が不自然なときは環境設定メニューの「入力信号選択」で接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。p.34

電源の切りかた

1 **接続している機器の電源を切ります。**

2 **リモコンの [Off] または本体操作パネルの [Power] を押します。**

本体操作パネルの[Power]を押した場合は、次のメッセージが表示されるので、もう一度、[Power]を押します。

電源を切りますか？

はい　：[Power]ボタンを押す
いいえ：他のボタンを押す

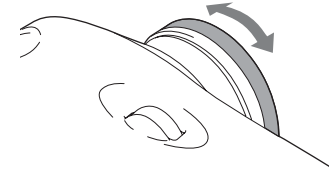
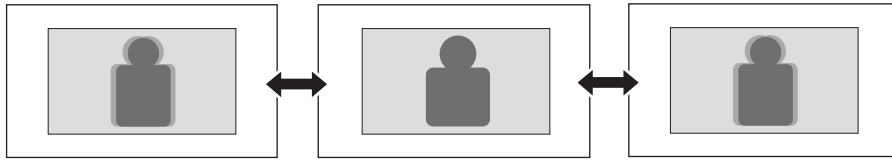
3 **クールダウン(約16秒間)が終了したら、主電源スイッチを切ります。**

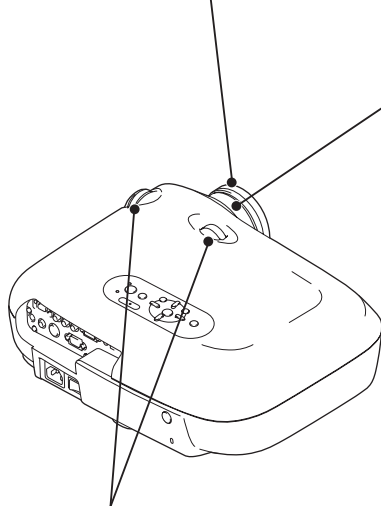
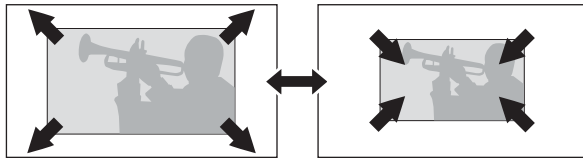
[Off]や[Power]を押しただけでは電力を消費しています。

4 **レンズカバーを取り付けます。**

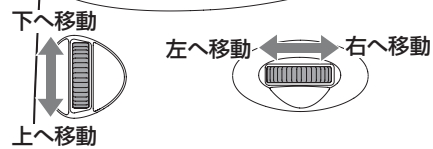
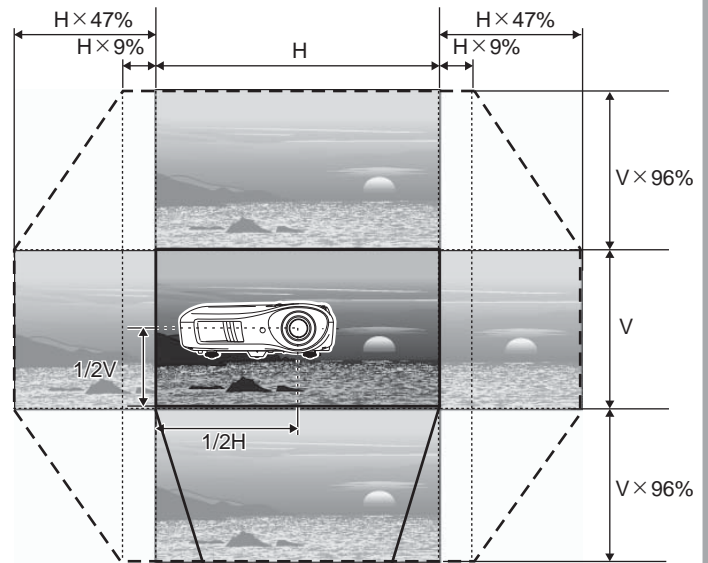
投写画面を調整しよう

ピント調整（フォーカス調整）

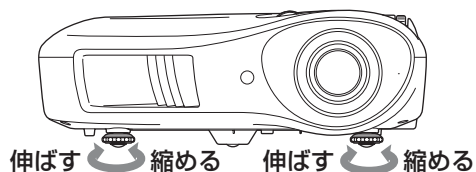
フォーカスリングを回してピントを調整します。

投写サイズの微調整（ズーム調整）

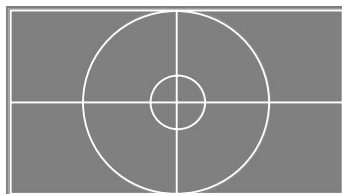
ズームリングを回して、投写映像の大きさを調整します。

投写映像の位置調整（レンズシフト）

スクリーンに対して本機を正面に設置できないときや映像が下すぎる、あるいは上すぎるときは、レンズシフトを使い右図の範囲内で映像の位置を上下左右に移動できます。
レンズシフトダイヤルを回してカチッと音がすると、レンズ位置がほぼ中央になります。

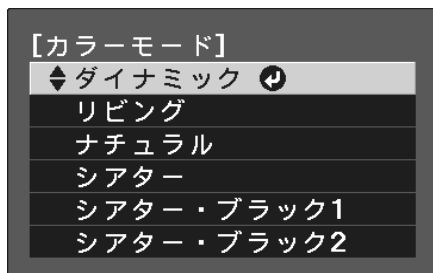
映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動することはできません。
例）映像を左または右いっぱいにシフトしたときは、上下にはシフトできません。
映像を上または下いっぱいにシフトしたときは、左右には画面横幅の9%まではシフトできます。

注意　本機を輸送する際は、レンズシフトを一番下まで下げて輸送してください。レンズシフトを下げないで輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそれがあります。

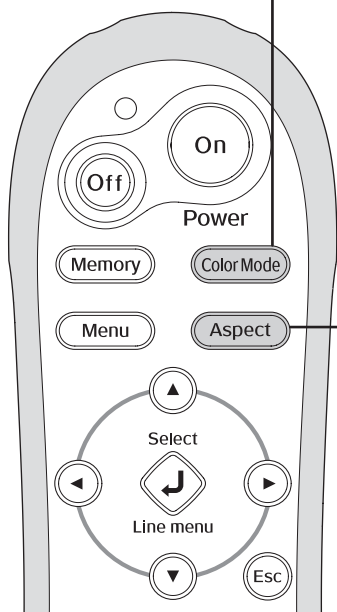
本機の傾きを補正する

投写映像が水平方向に傾いている場合（⊿ ⊿）は、フロントフットで本機が水平になるように調整します。

テストパターン表示

本機を設置するときなどに、映像機器を接続しなくてもテストパターンを表示させてズーム調整、フォーカス調整ができます。
リモコンの Pattern を押すと、テストパターンが表示されます。

テストパターン表示を終了するには再び Pattern を押します。

画質の調整をしよう

映り具合を選ぶ(カラーモード)

(Color Mode)を押し、メニューから カラーモードを選択します。環境設定メニューからも設定できます。

[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの入力時

ワイド画面で映像を投写する(アスペクト)

(Aspect)を押し、メニューからアスペクトモードを選択します。

オート で投写すると

- ●4:3の入力信号 → ノーマル
- ●スクイーズ記録された入力信号 → フル
- ●レターボックスの入力信号 → ズーム

- コンピュータ入力時や一部のコンポーネントビデオ信号には対応していません。
- 接続機器がEIAJ規格に対応していないときはノーマルになります。

セレクトメニューの操作

リモコンの(▲)(▼)か、操作パネルの(▲)(▼)を押して項目を選択します。(Select)か(Select)を押して決定します。

※(Esc)を押すとセレクトメニューを終了します。

ポイント

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

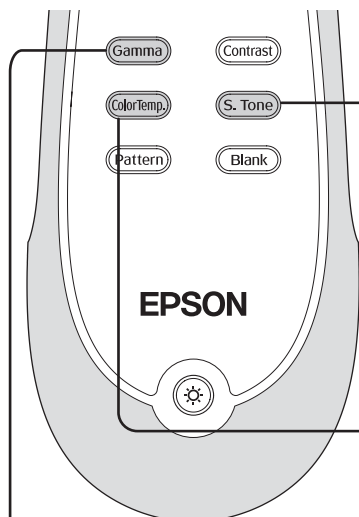
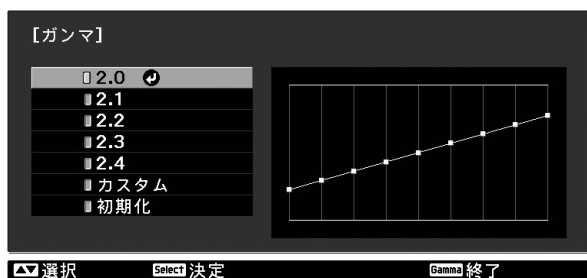
ダイナミック	：明るい部屋での使用に適しています。	シアター・ブラック1/2	：完全に遮光された部屋で使用するのに適しています。
リビング	：カーテンを閉めた部屋での使用に適しています。	シアター・ブラック1	DVDソフト作成時などに使用するプロフェッショナルモニターのようなクリアな色調。
ナチュラル	：暗い部屋での使用に適しています。色調整は、このモードから行うことをお勧めします。	シアター・ブラック2	映画館で映画を見るような、暖かく深みのある色調。
シアター	：暗い部屋での使用に適しています。	x.v.Color	：HDMI1、2入力端子からの信号入力時に表示され選択できます。より自然な色の再現に適しています。

■ のモードを選択すると、エプソンシネマフィルタが自動的に装着され、映像がしまり、人物の肌の色が自然な色合いになります。

入力信号	● 通常のテレビ放送 ● スタンダードサイズ(4:3)の映像 ● コンピュータ映像	ビデオカメラ·DVDソフトなどのスクイーズ記録された映像	DVDなどのレターボックスの映像	● 通常のテレビ放送 ● スタンダードサイズ(4:3)の映像
推奨アスペクトモード	ノーマル	フル	ズーム	ワイド
結果	左右に黒い帯が表示されます。	入力信号をパネル解像度の幅に合わせて映像を投写します。	入力信号をパネル解像度の高さに合わせて映像を投写します。	入力信号をパネル解像度の高さに合わせて映像を投写します。その際、画像の中心部の拡大比率を抑え、左右端部の比率を大きくします。
備考	HDTVの映像を投写した場合は、16:9の映像になります。	4:3の映像を投写した場合は、横長の映像になります。	●4:3の映像を投写した場合は、上下が見えなくなります。この場合、環境設定メニューの「ズームサイズ」で上下にはみ出して見えない部分の映像を、縦方向に縮小して表示させることができます。 p.31 ●字幕つきの映像の字幕が切れるときは、環境設定メニューの「ズーム字幕位置」で調整できます。 p.31	4:3の映像をワイド画面で投写する場合に効果的です。中心部は拡大による画像のゆがみが少なくなるので、オリジナルサイズのイメージに近い映像になります。映像の両サイドが引き伸ばされるので、両サイドの動きが速く見え、スピード感あふれた映像になりスポーツ観戦により適しています。

画質の調整

こだわりの色調整をしよう

「画質」メニュー→「絶対色温度」、「肌の色調整」、「アドバンスト」を調整し、ご自分の好みに合わせた絵作りをすることができます。
調整値はメモリに登録して、いつでも呼び出して映像に反映させることができます。（☞ p.24）
「肌の色調整」、「絶対色温度」、「ガンマ」はリモコンのボタンからワンタッチで調整できます。

ガンマの調整

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。
画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整します。
（調整中は投写映像が一時停止します。）
ガンマ補正値を「2.0」「2.1」「2.2」「2.3」「2.4」の中から選ぶ方法と、投写中の映像やガンマ調整グラフを見ながら調整する方法があります。

■ ガンマ補正値での調整

「2.0」「2.1」「2.2」「2.3」「2.4」の中から、接続機器や好みに合う補正値を ⊙ ⊙ か ▲▼ で選択し、Select か Select で決定します。

ガンマ調整グラフで調整結果を確認します。

数値が小さいほど、映像の中の暗い部分のコントラスト▸ が高くなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。ガンマ調整グラフは上側が膨らんだ形になります。

数値が高いと、映像の中の明るい部分が暗くなります。ガンマ調整グラフは下側が膨らんだ形になります。

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。
人物の肌の色をお好みの色に調整します。
「カラーモード」の設定によって自動的に装着されるエプソンシネマフィルタで、肌の色は自然な色合いになります。よりお好みの肌の色にする場合に、この「肌の色調整」で調整します。
＋側に設定すると緑がかった色になり、－側に設定すると赤紫がかった色になります。

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。
映像全体の色合いを調整します。
高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。テレビ録画された映像は高い値、映画などの映像は低い値にするなど、ご覧になる映像に応じて5000K～10000Kの範囲内で12段階の中から選択します。

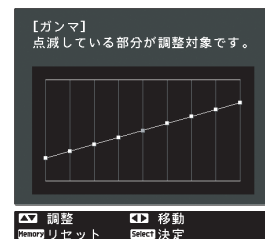
■ カスタム（映像から調整する）

「カスタム」→「映像から調整する」の順に、▲▼か▲▼で選択し、Selectか Selectで決定します。
投写中の映像にガンマアイコンが表示されます。

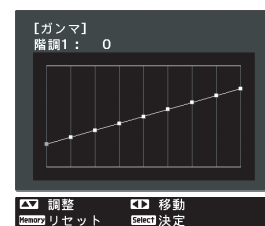
明るさを調整したい箇所に▲▼◀▶や▲▼◀▶でガンマアイコンを移動し、Selectか Selectで決定すると、選んだ箇所と同じ明るさの領域が点滅し、ガンマ調整グラフが表示されます。
◀▶ ◀▶ のいづれかを押すと、階調を調整する画面が表示されます。

▲▼や▲▼で調整し、Selectか Selectで決定します。
やり直す場合は Memory で戻ります。

■ カスタム（グラフから調整する）

「カスタム」→「グラフから調整する」の順に、▲▼ か ▲▼ で選択し、Select か Select で決定します。
ガンマ調整グラフが表示されます。

階調の明るさを調整したい箇所を◀▶ や◀▶で選択し、◀▶◀▶のいづれかを押すと、階調を調整する画面が表示されます。

▲▼◀▶ や ▲▼◀▶ で調整し、Selectか Select で決定します。

画質の調整

RGBの調整（オフセット・ゲイン）

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。
映像の明度を、R（赤）G（緑）B（青）について それぞれ、暗い部分（オフセット）と明るい部分（ゲイン）を調整します。

■オフセット

暗い部分をよりハッキリ見たい場合は、＋側（右側）に設定します。－側（左側）に設定すると、映像全体にメリハリはつきますが、暗い部分の濃淡の差が減少します。

■ゲイン

明るい部分をよりハッキリ見たい場合は、－側（左側）に設定します。＋側（右側）に設定すると、より白に近づき明るく感じますが、明るい部分の濃淡の差が減少します。

1 Menu **を押し、「画質」→「アドバンスト」→「RGB」の順に選択し、決定します。**

2 ▲▼か▲▼**で項目を選択し、**◀▶**か**◀▶**で調整します。**

調整結果を初期値に戻すときは Memory を押します。

3 Menu **を押してメニューを終了します。**

色相・彩度・明度の調整

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。
R（赤）G（緑）B（青）C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

■色相

映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。

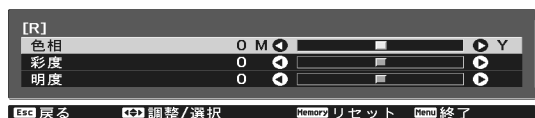
■彩度

映像全体の鮮やかさを調整します。

■明度

映像全体の色の明るさを調整します。

1 Menu **を押し、「画質」→「アドバンスト」→「RGBCMY」の順に選択し、決定します。**

2 ▲▼か▲▼**で色を選択・決定し、色相・彩度・明度のいずれかを選択し、**◀▶**か**◀▶**で調整します。**

別の色を調整するときは、Esc を押します。
調整結果を初期値に戻すときは Memory を押します。

3 Menu **を押してメニューを終了します。**

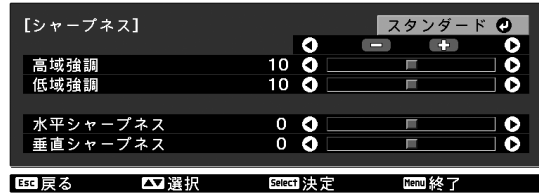
さらに画質を究めよう

色調整に加え、高度なシャープネスやランプ光量の調整により、映像に合わせた画質を追求できます。

シャープネス（アドバンスト）の調整

コンピュータ映像信号入力時は調整できません。
高域強調を＋側に設定すると、髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。
低域強調を＋側に設定すると、高域強調で強調された部分はほとんど強調されず、被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。

水平シャープネスまたは垂直シャープネスを＋側に設定すると、水平方向または垂直方向で画像を強調し、－側に設定するとソフトにします。

1 Menu **を押し、「画質」→「シャープネス」の順に選択します。画面右上の「アドバンスト」を選択し決定します。**

2 **か で項目を選択し、 か で調整します。**
一番上のバーを使うと、高域強調と低域強調を同時に調整できます。
調整結果を初期値に戻すときは Memory を押します。

3 Menu **を押してメニューを終了します。**

オートアイリス（自動絞り）の設定

「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると設定できません。
「オートアイリス」を「オン」に設定すると、映像の明るさに合わせて、光量を自動的に調整することで、奥行きと深みのある画像になります。

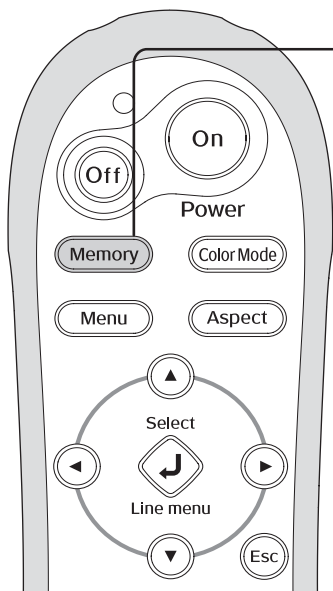
※映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。

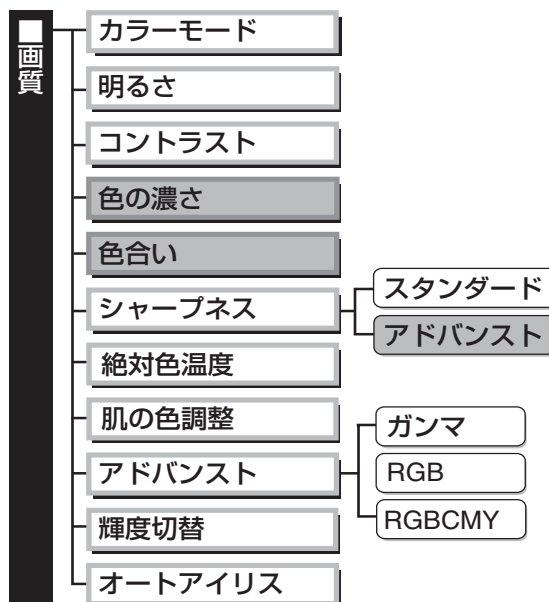
1 Menu **を押し、「画質」→「オートアイリス」の順に選択し、決定します。**

2 **「オン」を選択し、決定します。**

3 Menu **を押してメニューを終了します。**

登録した画質で映像を見よう（メモリ機能）

環境設定メニューの「画質」で投写映像を調整したあとで、その調整値を登録することができます（メモリ登録）。
登録した調整値を簡単に呼び出すことができるので、いつでも容易にお好みの画質で映像を楽しめます（メモリ呼出）。

メモリの登録・呼出・削除

メモリ登録できる調整は、以下のとおりです。
メモリは10個まで登録できます。

コンピュータ映像信号入力時以外に表示される

■メモリ登録

1 登録したい状態に各設定を調整しておきます。

2 Memory を押し、「メモリ登録」を選択します。
メモリ登録画面が表示されます。

3 メモリ1〜10から登録するメモリ名を選択し、Select か Select を押します。
メモリ名の左にある▯が緑色のときは登録済みです。
登録済みのメモリ名を選択し Select か Select を押すと、確認のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると以前の内容は消去され、現在の調整値が登録されます。

■メモリ呼出

登録したメモリを呼び出します。

1 Memory を押し、「メモリ呼出」を選択します。
メモリ呼出画面が表示されます。

2 目的のメモリ名を選択します。

- メモリを登録した時のカラーモードが右側に表示されます。
- メモリを呼び出した結果は、本機の電源をオフにしても保持されます。次回電源を入れたときには同じメモリの調整値で映像を投写します。
- 16:9 の映像や、入力映像の解像度によって、呼び出したメモリのアスペクト▸▸が投写映像に反映されない場合があります。

■メモリ削除

不要になったメモリを削除しメモリの整理ができます。

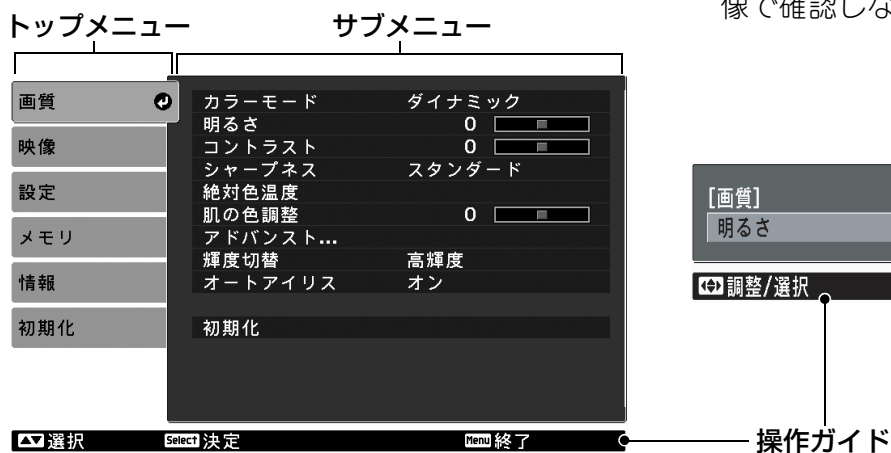
1 Memory を押し、「メモリ削除」を選択します。
メモリ削除画面が表示されます。

2 削除するメモリ名を選択します。
確認のメッセージが表示されます。
「はい」を選択すると削除が実行されます。

登録したメモリをすべて消去する場合は、環境設定メニューの「初期化」→「メモリ初期化」で行います。 ☞ p.35

環境設定メニューの機能

環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。
環境設定メニューの表示には、次の2種類があります。

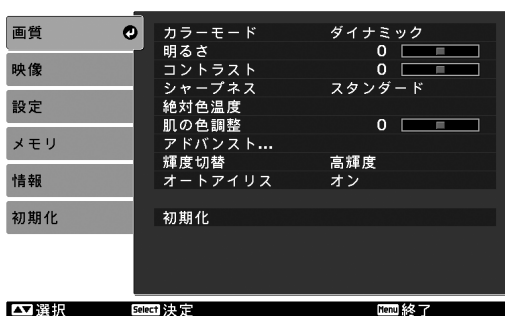
■ フルメニュー
環境設定メニューの全項目を確認しながら設定できます。

■ ラインメニュー
環境設定メニューの「画質」メニューの一部の項目を調整できます。調整した結果を投写映像で確認しながら調整できます。

操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(p.26)をご覧ください。

環境設定メニューは、メニューカラーや表示位置を変更できます。
「設定」→「表示設定」→「メニュー表示位置」、「メニューカラー」

環境設定メニューの操作

1 メニューの呼び出し

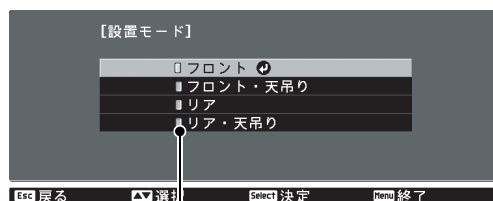
フルメニュー: Menu を押します。

ラインメニュー: Select または、Select を押します。

2 項目選択

▲ ▼で項目を選び Select を押します。

3 設定の変更

例:)

Ⓛ Ⓡで調整する

Ⓤ Ⓓで項目を選び Select を押す

↵ が表示されている項目で Select を押すと、その項目の選択画面に移行します。一階層戻るときは、Esc を押します。

4 設定の終了

Menu を押します。

環境設定メニュー一覧

映像信号が何も入力されていないときは、「画質」メニューと「映像」メニューは調整できません。また、「画質」メニュー、「映像」メニュー、「情報」メニューは投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

は初期設定値
■設定
ダイレクトパワーオン p.33 オン, オフ
スリープモード p.33 オフ, 5分, 10分, 30分
チャイルドロック p.33 オン, オフ
操作ボタンロック p.33 オン, オフ
トリガーアウト p.33 オン, オフ
高地モード p.33 オン, オフ
設置モード p.33 フロント, フロント・天吊り, リア, リア・天吊り
表示設定 p.34
メニュー表示位置 左上, 中央上, 右上, 左中央, 中央, 中央右, 左下, 中央下, 右下
メニューカラー カラー1, カラー2
メッセージ表示 オン, オフ
背景表示 黒, 青, ロゴ
スタートアップスクリーン オン, オフ
型番表示モード オン, オフ
入力信号選択 p.34
ビデオ信号方式 オート, NTSC, NTSC4.43, PAL, M-PAL, N-PAL, PAL60, SECAM
Component Auto, YCbCr, YPbPr
言語 p.34 日本語, English, Français, Deutsch, Italiano, Español, Português, 中文, 한국어, Nederlands, Dansk, Polski, Magyar, Česky, Norsk, Svenska, Suomi, Русский, Ελληνικά, Türkçe
初期化 p.34 はい, いいえ
コンポジットビデオ/S-ビデオ入力時のみ表示
コンポーネントビデオ/コンピュータ入力時のみ表示
コンピュータ入力時のみ表示
■情報
ランプ点灯時間
● ランプ交換時期になると、文字が黄色で表示されます。
● 0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。
入力ソース
入力信号
入力解像度
走査方式
リフレッシュレート
同期情報
ビデオ信号方式
情報メニューでは本機の状態表示のみを行います。
Deep Color
HDMI伝送の色深度を表示します。
ステータス
本機に発生した異常についての情報です。
お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
■メモリ
メモリ呼出 p.35 メモリ1 ～ メモリ10
メモリ登録 p.35 メモリ1 ～ メモリ10
メモリ削除 p.35 メモリ1 ～ メモリ10
■初期化
全初期化 p.35
メモリ初期化 p.35
ランプ点灯時間初期化 p.35

画質メニュー

コンピュータ入力時以外は表示

カラーモード ※1

投写する環境や映像に合わせて、色調整を7種類から選択します。 p.18

明るさ ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
接続機器の出力レベルが弱く映像が暗く感じるときに調整します。

コントラスト ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像の明暗の差を調整します。
コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。

色の濃さ ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像の色の濃さを調整します。

色合い ※2

(コンポジットビデオ、S-ビデオはNTSC系の信号入力時のみ調整可能ですが、「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像の色合いを調整します。

シャープネス ※2

映像のシャープ感を調整します。

スタンダード

映像全体に調整結果を反映させます。

アドバンスト

特定の領域を調整したいときに使います。 p.23

絶対色温度 ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
映像全体の色合いを調整します。 p.20

肌の色調整 ※2

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)
肌の色をお好みの色に調整します。 p.20

アドバンスト

(「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると調整できません。)

ガンマ ※1

ガンマ調整をします。数値を選択する方法と、映像やグラフを見ながら調整する方法があります。 p.20

RGB ※1

R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。 p.22

RGBCMY ※1

R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。 p.22

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。
※2 入力ソースとカラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。

コンピュータ入力時のみ表示
（[HDMI1]/[HDMI2] 入力端子から入力している場合は表示されません。）

輝度切替 ※2

ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。
暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。「低輝度」で使用するとランプ寿命が延び、投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。

オートアイリス ※3

（「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると設定できません。）
映像に合わせて最適な光量に調整する（オン）/しない（オフ）を設定します。p.23

初期化

「画質」メニューのすべての調整値を初期値に戻します。

映像メニュー

アスペクト ※1

アスペクトモードを選択します。p.18

ズームサイズ ※1

「アスペクト」を「ズーム」に設定しているときに限り設定ができます。
「ズーム」設定時に上下にはみ出して見えない部分の映像を、縦方向に縮小して表示できるようにする機能です。設定した調整値（縮小率）が大きいほど、縦方向に映像が圧縮されて潰れたような表示になります。

ズーム字幕位置 ※1

「アスペクト」を「ズーム」に設定しているときに限り設定ができます。
字幕つき映像を投写しているとき、映像の表示位置を上下のどちらかに動かして字幕を表示させる機能です。

トラッキング ※1

映像に縦の縞模様が出るときに調整します。

同期 ※1

映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネスの調整で発生することもあります。
- トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。

表示位置 ※1

（[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの信号入力時は設定不可）
映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。位置の調整は ⊙ ⊙ ⊙ ⊙ を押して行います。

自動調整

入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整のオン/オフを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。
※2 入力ソースとカラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。
※3 カラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。

コンピュータ入力時以外は表示

プログレッシブ ▸変換 ※1

（[Video]、[S-Video]入力端子から信号入力時、または[Component]、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子から480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能）
映像に適した方法でインターレース ▸(i)信号をプログレッシブ(p)信号に変換します。

- オフ　　　：動きの大きな映像をお楽しみいただくときに適しています。
- ビデオ　　：一般のビデオ映像に適しています。
- フィルム/オート：フィルム映画、CG、アニメーション映像など入力信号に応じて最適な変換を行います。

動き検出 ※1

（[Video]、[S-Video]入力端子から信号入力時、または[Component]、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子から480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能）
プログレッシブ変換での動作モードを動きの速い映像用か、遅い映像用かにより切り替えます。数字が小さいほど静止画をご覧になるのに適したモードになります。数字が大きいほど動画をご覧になるのに適したモードとなります。

ノイズリダクション ※1

映像のざらつきを抑えます。
モードを3つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。
DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは「オフ」に設定してご覧ください。

出画率変更 ※1

（コンポジットビデオ ▸、S-ビデオ ▸入力時とコンピュータ入力時は設定不可）
出画率（投写する映像の範囲）を変更できます。

- 100％～92％：100％に設定すると、映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。その場合は、表示位置を調整してノイズを見えなくすることができます。（映像信号によってはノイズが残る場合があります。）☞ p.31
- オート　　：[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの信号入力時のみ表示されます。入力信号によって自動的に100％表示または92％表示で投写します。（接続機器のDVI端子と本機の[HDMI1]、[HDMI2]入力端子を接続している場合は表示されません。）

セットアップレベル ※1

（[Video]、[S-Video]入力端子からNTSC ▸信号入力時、または[Component]入力端子からコンポーネントビデオ ▸信号入力時に設定可能)
韓国向けの製品など黒のレベル（セットアップレベル）が違う機器を使用する際に変更します。接続する機器の仕様を確認してから設定してください。

EPSON Super White ※ 1

（カラーモードが「ナチュラル」「シアター」「シアター・ブラック1」「シアター・ブラック2」の場合で、コンポジットビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオ入力時のみ設定可能）
雲や真夏の海辺の白いTシャツなど、明るい白がメリハリなくつぶれていると感じたときは、「オン」に設定します。
「オン」に設定している場合は、「HDMIビデオレベル」での設定は無効になります。

HDMIビデオレベル ※1

（「EPSON Super White」が「オフ」の場合のみ設定可能ですが、「カラーモード」を「x.v.Color」にしていると設定できません。）
本機の[HDMI1]、[HDMI2]入力端子とDVDプレイヤなどを接続している場合に、DVDプレイヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVDプレイヤ側の設定では、Normal（通常）、Expand（拡張）となっていることがあります。

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

2-2 プルダウン

（[Component]入力端子、[HDMI1]、[HDMI2]入力端子からの1080p/24Hz信号入力時のみ設定可能）
1080p/24Hz信号の映像を2-2プルダウンにして投写するか、2-3プルダウンにして投写するか選択できます。「オン」にすると2-2プルダウンに設定されます。

初期化

「映像」メニューのうち、「アスペクト」以外のすべての調整値を初期値に戻します。

設定メニュー

ダイレクトパワーオン

主電源スイッチをONにすると Power や On を押さなくても投写を開始する（オン）/しない（オフ）を設定します。
「オン」に設定しているときは、停電復旧時などに、主電源スイッチがONになっていると、投写が開始されますので、注意してください。

スリープモード

本機は、信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スリープモードが働くまでの時間を4種類から選択します。「オフ」にした場合はスリープモードは働きません。スタンバイ状態になっているときは、On を押すと投写を再開します。

チャイルドロック

お子様が、誤って電源を入れてレンズをのぞかないように、操作パネルの Power での電源オンをロックします。ロック時は、Power を約3秒間押し続けると電源が入ります。Power で電源を切ったり、リモコンでの操作は通常どおり行えます。
設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。
「チャイルドロック」を「オン」に設定しても、「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定しているときは、主電源スイッチをONにするだけで投写が開始されますので、注意してください。

操作ボタンロック

「オン」にすると本体操作パネルのボタン操作が無効になり、ボタン操作を行うと画面上に🔒が表示されます。解除するには、本体操作パネルの Select を約7秒以上押します。
設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。

トリガーアウト

本機の電源オン/オフの状態や異常状態になったことを外部機器に伝えるトリガーアウト機能のオン/オフを設定します。
設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。

高地モード

内部温度を下げるためのファンの回転速度を設定します。
標高約1500ｍ以上でお使いの場合は「オン」にします。

設置モード

本機の設置状態に応じて設定します。
- フロント：スクリーン正面から投写する場合に選択します。
- フロント・天吊り：天吊りでスクリーン正面から投写する場合に選択します。
- リア：リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。
- リア・天吊り：天吊りでリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。

表示設定

メニュー表示位置

メニューが表示される位置を ⊙ ⊙ ⊙ ⊙ を押して指定します。

メニューカラー

トップメニューの色合いを選択します。

- カラー1：黒色
- カラー2：青色

メッセージ表示

次のメッセージ表示をする（オン）/しない（オフ）を設定します。

- 映像信号やカラーモード、アスペクト▸▸、メモリ呼び出し時の項目名表示
- 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時

背景表示

ブランク実行中や映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。

スタートアップスクリーン

スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウン▸▸が終了した後に、設定が有効になります。

型番表示モード

プロジェクターの型番を表示します。

入力信号選択

ビデオ信号方式

［Video］入力端子、または［S-Video］入力端子に接続しているビデオ機器に応じて信号方式を設定します。「オート」にすると、自動的にビデオ信号を設定します。
「オート」にしていても映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。

Component

［Component］入力端子に接続しているビデオ機器の出力信号に応じて選択します。
「Auto」にすると、自動的に設定します。「Auto」にしていて色が不自然な場合は、適切な信号を選択してください。

言語

メッセージやメニューに表示する言語を設定します。

初期化

「設定」メニューのうち、「高地モード」、「設置モード」、「Component」、「言語」以外のすべての調整値を初期値に戻します。

メモリメニュー

メモリ呼出

「メモリ登録」で登録した設定値を呼び出します。p.24
「メモリ登録」で何も登録していないときは選択できません。

メモリ登録

「画質」メニューの設定値を登録できます。p.24

メモリ削除

登録済みのメモリで不要になったものを削除します。p.24

初期化メニュー

全初期化

環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。「設定」メニューの「Component」、「言語」と「メモリ」メニューの内容は全初期化を実行しても初期値に戻りません。

メモリ初期化

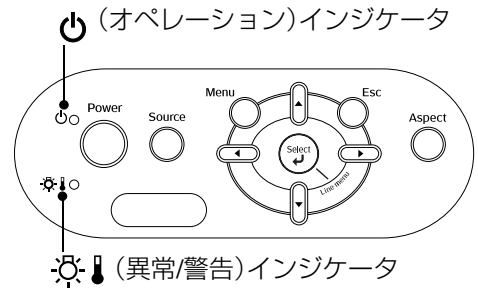
「メモリ登録」で登録した内容をすべて初期化(消去)します。

ランプ点灯時間初期化

ランプ点灯時間の累積をクリアし、「0H」に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。

インジケータの見方

本機は、次の2種類のインジケータで本機の状態を知らせています。
下表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

※インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または、主電源スイッチが入っていません。

(異常 / 警告)インジケータ 点灯・点滅時 異常/警告

●:点灯 ☼:点滅

インジケータ	状態・対処
赤 (1秒ずつ点灯/消灯)	**内部異常 / ファン異常 / センサ異常 / シネマフィルタ異常 / オートアイリス異常** 注意 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 裏表紙
赤 (0.5秒ずつ点灯/消灯)	**ランプ異常 / ランプ点灯失敗 / ランプカバー開状態** ランプが割れていないか確認します。 p.44 エアーフィルタを掃除します。 p.42 ランプが割れていなければ → ランプを再セットし、本機の電源を入れます。 → ランプを再セットしても直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 裏表紙 ランプが割れているときは → お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターにご相談ください。 裏表紙 ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認します。 標高 1500m 以上でお使いの場合は、必ず「高地モード」を「オン」にしてください。 p.33
赤 ●	**内部高温異常(オーバーヒート)** ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約 5 分間そのままの状態で待ちます。ファンが停止したら、本体背面の主電源スイッチを OFF にします。
オレンジ ☼	**高速冷却中** このまま投写を続けられますが、さらに高温になると投写を自動的に停止します。

(内部高温異常・高速冷却中 共通)
- 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。
- エアーフィルタが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 p.42

→ 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、主電源スイッチをOFFにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 裏表紙

(オペレーション)インジケータ 点灯・点滅時 正常

(異常 / 警告)インジケータは消灯しています。

●:点灯 ☼:点滅

インジケータ	状態	説明
オレンジ ●	**スタンバイ状態**	On を押すと、しばらくして投写を開始します。
緑 ☼	**ウォームアップ中**	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
緑 ●	**投写中**	通常動作中です。

オレンジ ⏻ ☀	クールダウン中	クールダウンは約16秒で終了します。 クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。 クールダウン中はリモコン、操作パネルからの操作は無効になります。 クールダウン中に本体背面の主電源スイッチをOFFにした場合は、ランプが十分に冷えてから(約1時間必要)、再び主電源スイッチをONにしてください。

インジケータを確認してもわからないとき

まず下記をご覧になり、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

- **映像が表示されない** 下記参照
  投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- **動画が表示されない** p.38
  コンピュータで再生する動画が表示されない。
- **「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される** p.38
- **「映像信号が入力されていません。」と表示される** p.39
- **ぼやける、ピントが合わない** p.39
- **ノイズが入る、乱れる** p.39
  ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- **切れる(大きい)、小さい** p.40
  映像の一部分しか投写されないなど...
- **色合いが違う** p.40
  全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
  (コンピュータのモニタや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニタでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- **暗い** p.41
- **自動的に投写が消える** p.41

投写開始時のトラブル

- **電源が入らない** p.41

リモコンでのトラブル

- **リモコンで操作できない** p.41

映像に関するトラブル

■映像が表示されない

電源を入れましたか？	リモコンの(On)か、操作パネルの(Power)を押します。
主電源スイッチが入っていますか？	本体背面の主電源スイッチをONにしてください。
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。 p.14 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
ブランク状態ではないですか？	リモコンの(Blank)を押してブランク状態を解除します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの「メッセージ表示」を「オン」に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。 「設定」→「表示設定」→「メッセージ表示」 p.34

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ▸▸、S-ビデオ▸▸入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.34
	[Component]入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」 p.34
環境設定メニューの設定が間違っていませんか？	全初期化してみてください。 p.35
接続の作業を、本機やコンピュータの電源が入っている状態で行いましたか？ コンピュータ投写時のみ	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn]（ファンクション）キーが使えないことがあります。接続しているコンピュータと本機の電源を入れ直してください。

■ 動画が表示されない

コンピュータの映像信号が外部と液晶モニタ両方同時に出力されるように設定されていませんか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号が外部のみに出力されるように切り替えます。 コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへの出力のしかた」など

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ、S-ビデオ入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.34
	[Component]入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」 p.34
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「入力解像度」で入力中の映像信号を確認し、「対応解像度一覧」で対応しているか確認してください。 「情報」→「入力解像度」 p.29 「対応解像度一覧」 p.47

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 p.12
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの Component 、 PC 、 S-Video 、 Video か操作パネルの Source で映像を切り替えます。 p.15
接続している機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタ以外（外部）にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタに表示されないモデルもあります。 コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへの出力のしかた」など
	本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn]（ファンクション）キーが使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。 p.14

■ ぼやける、ピントが合わない

ピント調整しましたか？	ピント調整を行います。 p.16
レンズカバーが付いていませんか？	レンズカバーを外します。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は16:9スクリーンサイズの場合は87～956cm、4:3スクリーンサイズの場合は106～1170cmです。この範囲で設置してください。 p.10
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ▸▸、S-ビデオ▸▸入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.34
	[Component]入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」p.34
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 p.12
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。増幅機器などを接続して確認してください。
「同期▸▸」、「トラッキング▸▸」は正しく調整されていますか？ コンピュータ投写時のみ	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。この場合は、環境設定メニューの「トラッキング」、「同期」で調整します。 「映像」→「トラッキング」、「同期」 p.31

解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 「対応解像度一覧」p.47、コンピュータの『取扱説明書』など

■ 切れる（大きい）、小さい

アスペクトは正しく選択していますか？	Aspect を押して入力信号に合ったアスペクトを選択してください。 p.18 字幕つきの映像を「ズーム」で投写している場合は、環境設定メニューの「ズーム字幕位置」で調整します。 p.31
「表示位置」は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 「映像」→「表示位置」p.31
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。 コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 「対応解像度一覧」p.47、コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ、S-ビデオ入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」p.34
	［Component］入力端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」の「Component」を「Auto」に設定していても投写できないときは、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 「設定」→「入力信号選択」→「Component」p.34
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 p.12
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 「画質」→「コントラスト」p.30
適切に色の調整がされていますか？	環境設定メニューの「アドバンスト」を調整してください。 「画質」→「アドバンスト」p.30
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。 「画質」→「色の濃さ」、「色合い」p.30

■ 暗い

映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を設定してください。 「画質」→「明るさ」 p.30
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 「画質」→「コントラスト」p.30
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 p.44

■ 自動的に投写が消える

「スリープモード」が働いていませんか？	映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの On か、操作パネルの Power を押すと電源が入ります。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にします。 「設定」→「スリープモード」 p.33

投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

電源を入れましたか？	リモコンの On か、操作パネルの Power を押します。
「チャイルドロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「チャイルドロック」を「オン」に設定している場合は、操作パネルの Power を約3秒間押し続けるか、リモコンの On を押します。 「設定」→「チャイルドロック」p.33
「操作ボタンロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「操作ボタンロック」を「オン」に設定していると、操作パネルのボタンはすべて無効になります。リモコンの On を押します。 「設定」→「操作ボタンロック」p.33
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。 p.14 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、電源ケーブルが故障している可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。 裏表紙

リモコンでのトラブル

■ リモコンで操作できない

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右30°、上下30°です。 p.13
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約10ｍです。 p.13
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。 p.13

困ったときに

お手入れの方法

お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

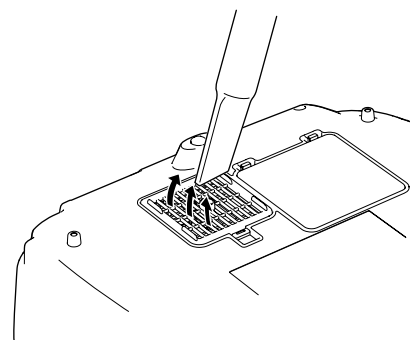
各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

エアーフィルタの掃除

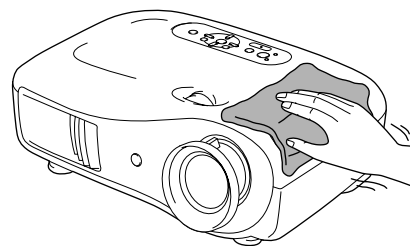
エアーフィルタにホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアーフィルタの掃除、または交換を行ってください。」とメッセージが表示されたときは、エアーフィルタの掃除を行ってください。

エアーフィルタのホコリは、本機を裏返して、掃除機で吸い取ります。p.8

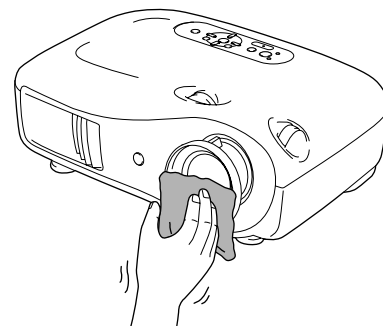
エアーフィルタにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約 3ヶ月に一度はエアーフィルタの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

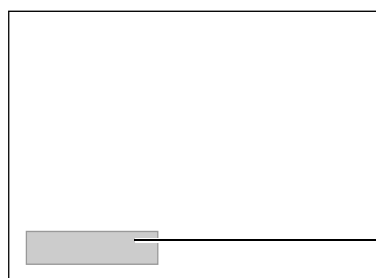
レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

消耗品の交換時期

エアーフィルタの交換時期

- エアーフィルタが破れたり、掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき
  オプションの「エアーフィルタ」と交換してください。
  ☞「エアーフィルタの交換方法」p.44

ランプの交換時期

- 投写開始時に、「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約2400時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使いの状況により変わります。
  交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。

付録

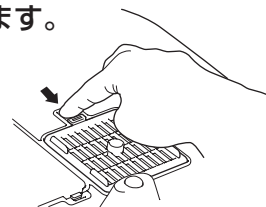
消耗品の交換

エアーフィルタの交換方法

⚠注意
電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。

ポイント
使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
材質：ポリプロピレン

1 Off か Power を押して電源を切り、クールダウンが終了したら、主電源スイッチをOFFにします。

2 エアーフィルタカバーを外します。

つまみに指をかけて上に引きます。

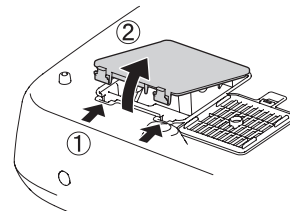
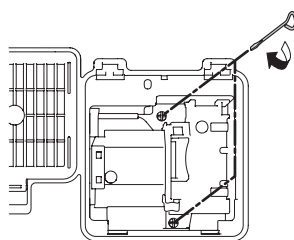
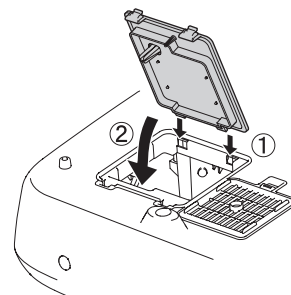
ランプの交換方法

⚠警告
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠注意
ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。

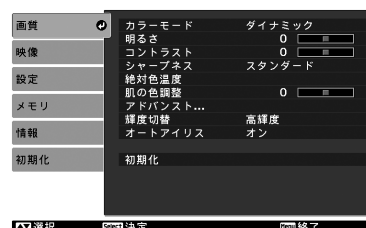
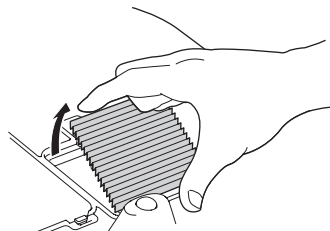
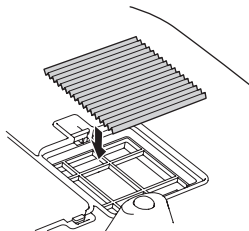
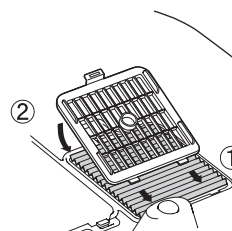
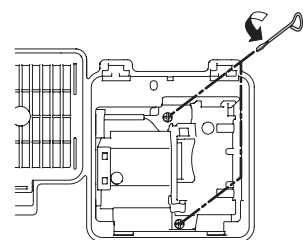
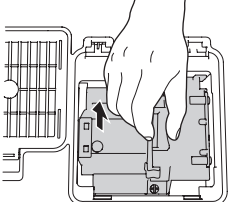
1 Off か Power を押して電源を切り、クールダウンが終了したら、主電源スイッチをOFFにします。

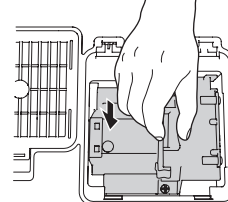
※ランプが冷えるまで待ちます（約1時間）。

2 ランプカバーを外します。

6 ランプ固定ねじをしっかり締めます。

7 ランプカバーを取り付けます。

ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。
本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、このカウンタを元にランプ交換のメッセージを表示します。

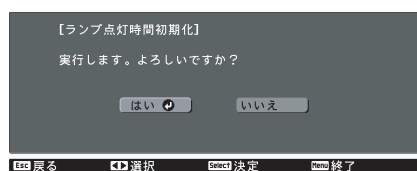
1 On を押して電源を入れます。

2 Menu を押して環境設定メニューを表示します。

3 古いエアーフィルタを取り外します。

4 新しいエアーフィルタを取り付けます。

5 エアーフィルタカバーを取り付けます。

3 ランプ固定ねじをゆるめます。

4 古いランプを取り出します。

まっすぐ引き抜きます。

5 新しいランプを取り付けます。

向きを合わせて押し込みます。

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。本機は安全のため取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

3 「初期化」→「ランプ点灯時間初期化」を選択します。

4 「はい」を選択して Select を押して実行します。

オプション・消耗品一覧

下記のオプション･消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション･消耗品類は2007年11月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■オプション品

80型スプリングローラー式スクリーン ELPSC15

巻き上げ式のスクリーンです。
(アスペクト▸▸16:9)

スクリーンスタンド ELPSCST01

80型スプリングローラー式スクリーン用のスタンドです。

天吊り金具※ ELPMB20

（天井プレート付き）
本機を天井に取り付けるときに使います。

パイプ600（600mmホワイト）※ ELPFP07

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

■消耗品

交換用ランプ ELPLP39

（ランプ1個、ドライバ1本）
使用済みランプと交換します。

エアーフィルタ ELPAF09

（エアーフィルタ1枚）
使用済みのエアーフィルタと交換します。

対応解像度一覧

出画率の設定により、値が少し異なります。

コンポーネントビデオ

4:3 16:9 :アスペクト　　単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
SDTV(480i, 60Hz)	720×480 720×360※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
SDTV(576i, 50Hz)	720×576 720×432※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
SDTV(480p)	720×480 720×360※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
SDTV(576p)	720×576 720×432※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
HDTV(720p)16:9	1280×720	1920×1080 16:9	-	-	-
HDTV(1080i)16:9	1920×1080	1920×1080 16:9	-	-	-
HDTV(1080p)16:9	1920×1080	1920×1080 16:9	-	-	-

※レターボックス信号

コンポジットビデオ/S-ビデオ

4:3 16:9 :アスペクト　　単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
TV(NTSC)	720×480 720×360※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9
TV(PAL, SECAM)	720×576 720×432※	1440×1080 4:3	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9	1920×1080 16:9

※レターボックス信号

コンピュータ映像（アナログRGB）

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
VGA 60	640×480 640×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
VESA72/75/85, iMac※1	640×480 640×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SVGA 56/60/72/ 75/85/, iMac※1	800×600 800×450※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
XGA 60/70/75/85, iMac※1	1024×768 1024×576※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
WXGA60-1	1280×768	1800×1080	1920×1080	1920×1080	-
WXGA60-2	1360×768	1912×1080	1920×1080	1920×1080	-
SXGA 60	1280×1024	1350×1080	1920×1080	1920×1080	-
	1280×960	1440×1080			1920×1080
MAC13”	640×480	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
MAC16”	832×624	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
MAC19”	1024×768	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
※2 レターボックス信号

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

[HDMI1]/[HDMI2]入力端子からの入力信号

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード			
		ノーマル	フル	ズーム	ワイド
VGA 60	640×480 640×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV (480i, 60Hz)	720×480 720×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV(480p)	720×480 720×360※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV（576i, 50Hz）	720×576 720×432※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
SDTV（576p）	720×576 720×432※2	1440×1080	1920×1080	1920×1080	1920×1080
HDTV （720p）	1280×720	1920×1080	-	-	-
HDTV（1080i）	1920×1080	1920×1080	-	-	-
HDTV(1080p)	1920×1080	1920×1080	-	-	-

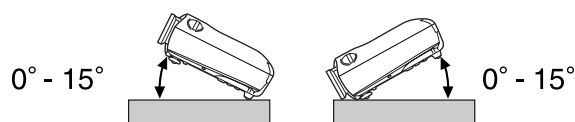
※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
※2 レターボックス信号

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

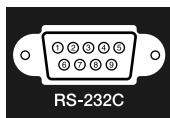
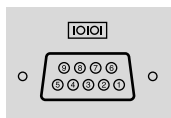
仕様一覧

商品名	ホームプロジェクター　EMP-TW2000		
外形寸法	406(幅)×124(高さ)×310(奥行き)mm(フット含まず)		
パネルサイズ	0.74型ワイド		
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス		
画素数	2,073,600個(横1920×縦1080)×3		
走査周波数	アナログ	ピクセルクロック	:13.5〜150MHz
		水平	:15〜80kHz
		垂直	:24、50〜85Hz
	デジタル	ピクセルクロック	:13.5〜150MHz
		水平	:15〜80kHz
		垂直	:24、50〜85Hz
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	手動(約1:2.1)		
レンズシフト	手動(上下方向最大約96%、左右方向最大約47%)		
ランプ(光源)	UHEランプ　定格170W　型番:ELPLP39		
電源	100−240V AC±10%、50/60Hz、2.7-1.2A 消費電力 定格消費電力　:245W(100-120Vエリア)、240W(220-240Vエリア) 待機時消費電力 :4W(100-120Vエリア)、5W(220-240Vエリア)		
動作高度	標高0〜2286m		
動作温度範囲	＋5〜＋35℃(結露しないこと)		
保存温度範囲	−10〜＋60℃(結露しないこと)		
質量	約5.6kg		
接続端子	Component入力端子	1系統	3RCAピンジャック
	PC入力端子	1系統	ミニD-sub 15pin(メス)青色
	HDMI1 ▸▸入力端子	1系統	HDMI
	HDMI2 入力端子	1系統	HDMI
	Video入力端子	1系統	RCAピンジャック
	S-Video入力端子	1系統	ミニDIN 4pin
	RS-232C端子	1系統	D-sub 9pin(オス)
	Trigger out端子	1系統	3.5mmミニジャック

本機にはPixelworks DNX^{TM}のIC が搭載されています。

■ 傾斜角度

15° 以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります。

■ RS-232Cケーブル配線

- コネクタ形状　　　　　　：D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名　：RS-232C

信号名	機　能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

HDMI

High Definition Multimedia Interfaceの略、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
HDMI はデジタル家電やコンピュータをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。

HDTV

High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。

・垂直解像度720p、1080i以上
（pはプログレッシブ走査、iはインターレース▸▸走査）
・画面のアスペクト▸▸は16：9
・ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）

NTSC

National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。

PAL

Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。

SDTV

Standard Definition Televisionの略で、HDTV▸▸の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。

SECAM

SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。

SVGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。

SXGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。

S-ビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。
Y（輝度信号）C（色信号）の2つの独立した信号からできている映像をいいます。

VGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。

XGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。

YCbCr

現行のテレビ（NTSC▸▸方式）で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。
Y（輝度信号）CbCr（クロマ（色）信号）で表します。

YPbPr

ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y（輝度信号）PbPr（色差信号）で表します。

アスペクト

画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16：9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクトは4：3です。

インターレース

静止画解像度が同一の画像を放送するのに、必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分で済むことをいいます。

クールダウン

投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。本機の電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は主電源スイッチを切らないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。クールダウン時間は、約16秒です。

コントラスト

色の明暗の差のことです。コントラストを強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりします。

コンポーネントビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。
ハイビジョンにおいて、Y（輝度信号）、Pb、Pr（色差信号）の３つの独立した信号からできている映像をいいます。

コンポジットビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号（NTSC▸▸方式）です。
カラーバー信号の中の伝送用信号Y（輝度信号）とCbCr（クロマ（色）信号）からできている映像を言います。

盗難防止用ロック

プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。

七陽商事株式会社　情報機器事業部
〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7
（ナナヨービル）
Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367

同期（Sync.）

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相（山のずれ）を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数（山の数）を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

プログレッシブ

1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて1画面を構成する方式をいいます。

リフレッシュレート

ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために１秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で設定します。

索引

数字・アルファベット

アイウエオ

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

ワ

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本製品を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

x.v.Color はソニー株式会社の商標です。
IBM、DOS/V、XGA は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMac は、Apple Inc. の商標です。
Windows、WindowsNT、PowerPoint は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
HDMI と High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EMP-TW2000 取扱説明書

EPSON

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。 http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-54-5800へお問い合わせください。

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070　・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアtoドアサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 050-3155-7150 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

液晶プロジェクタ（B）　2007. 9

この取扱説明書は100%再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in China
07.XX-.XA(G04)